



図書館便り 第61号
発行日 2018年12月5日
発行 下館二高図書委員会



こんにちは。図書委員会です。

定期考査も終わり、皆さんほっと一息ついていることと思います。暦は師走に入 to り、慌ただしい時期になりました。まもなく冬休み。クリスマスにお正月と楽しい行事も多いですが、3年生はセンター試験・一般入試に向けて、最後のひと踏ん張りです！1・2年生は自分の進路に関連する本などを読んで知識を蓄えましょう。



図書委員 おすすめ

「君たちはどう生きるか」 吉野源三郎

昭和12年に出版された本ですが、「人生をどう生きるべきか」という難題を作者の言葉で分かりやすく書かれているところが、今も読まれ続けている理由のひとつです。特に印象深かったのは、「人は、自分の力では変えられないことをぐるぐる悩み、考えてしまう。自分の力で変えられることを、考えた方がいい。」という言葉です。起きてしまったことは何があろうと変えられないので、今自分に何ができるかを考えようという意味です。とても前向きな気持ちにさせてくれます。

1年3組 K・Y



「学校ってなんだろう」 荻谷 剛彦

「どうして勉強しなければいけないの?」「なぜ毎日学校へ通わなければならないの?」これまで考えられてきた、学校や勉強についての常識を問い直し、学ぶことの意味を再び考えさせられます。学ぶことについての基本となるような本です。

1年3組 I・M



図書館閉館のお知らせ

書庫内の防虫作業等により、冬休み(12/25~1/7)は閉館します。貸出手続きはお早めに!

校内読書会&図書委員研修会



図書委員(1・2年) 当日参加者

実施日：平成30年11月1日(木)

会場：本校図書館

参加校：各クラス図書委員(1・2年生)

課題図書：『羊と鋼の森』(文春文庫)
宮下奈都 著



4つのグループに分かれて！
緊張した面持ちでスタート！



話し合いが始まり、少しずつ和やかに！



話し合ったことを模造紙にまとめます。



本を開いて、お互いの意見を交換
「ここなんだけど・・・」



模造紙にまとめたものを掲示



いよいよ発表です。最初の方の発表は緊張しますね。



読んで感じたこと、感動した場面
など、各々発表します。



考え方はひとそれぞれ！
他の人の発表に耳を傾けて・・・



最後の方の発表者は、少し余裕が
出て表情も笑顔が。



図書館担当の先生方5名から講評です。今回の課題図書に限らず“本を読む”ことの意義や素晴らしさについて、先生各々の想いを語っていただきました。

